

くす通信

第168号
2015年2月1日

国立病院機構熊本医療センター 発行

呼吸器内科より

・「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」 について

薬剤科より

・「禁煙のくすり」について

「くす(樟)」の由来について

くす(樟)は常緑の広葉樹で、熊本城内に多く見られます。種々の精油成分を含み、良い香りがします。樟脳をはじめ色々な薬用成分が抽出されるなど有用な薬用樹でもあります。
また、くすし(薬師)とは、医師のことを指し、くすしぶみ(薬師書)は医術に関する書物のことを言います。
本誌はこの「くす」にあやかり、健康な生活を送るために情報を提供しております。お気軽にお読み下さい。



禁煙のくすり について



薬剤科 濱崎翔平

喫煙をされている人なら一度は「今度こそやめる！」と禁煙を決意された経験がある方が多いと思います。意志の強い方は禁煙に成功されたかもしれませんが、残念ながら禁煙に失敗された方のほうが多いのではないのでしょうか。タバコの依存性は皆さんが想像しているよりもはるかに根強く、タバコに含まれるニコチンは麻薬にも劣らない依存性があります。ニコチンの依存性には二つの側面があります。



一つ目はニコチンが脳から快楽物質を放出させ快感や報酬感を与え、喫煙を続けてゆくうちにニコチンがないとイライラする、落ち着かないといった身体的依存があります。二つ目にタバコがないと手持ちぶさたや口寂しいといった心理・行動的依存があります。このような依存性が有り、禁煙が自分の意志だけでは難しいことを理解していただけたかと思います。禁煙方法の一つに禁煙補助薬を使用する方法があります。禁煙補助薬にはニコチンを含む製剤(パッチ、ガム)とニコチンを含まない飲み薬(バレニクリン)があります。ニコチン代替療法は、禁煙時に出現するニコチン離脱症状に対して、ニコチンを薬剤の形で補給しその症状を緩和しながら、まず心理・行動的依存から抜け出し、次にニコチン補給量を調節しながら、ニコチン依存から抜け出すというものです。



飲み薬(バレニクリン)



パッチ製剤



ガム製剤

パッチ製剤には医師により処方される医療用とドラッグストアで販売されている一般用があり、ガム製剤はドラッグストアで販売されています。一方、バレニクリンは、ニコチン製剤と同様に禁煙に伴う離脱症状や喫煙の切望感を少なくするとともに、服用中に再喫煙した場合にタバコがおいしくないと感じさせ、喫煙から得られる快感や報酬感を小さくします。バレニクリンは医療用のみで、服用するには医師の処方箋が必要です。場合によっては吐き気や頭痛などの副作用が現れることがありますので、医師の指示に従って、正しい用法・用量で使用して下さい。禁煙補助薬品には以下に示す条件を満たすと健康保険等が適応となる場合があります。

このように禁煙補助薬を使用しながら禁煙をおこなってゆくことにより禁煙成功率は格段に上がるはずですが、また禁煙を始めるタイミングに遅すぎるといったことはありません。ぜひこの機会にかかりつけの医師や薬剤師に相談してみてください。



健康保険等が適応となる条件

- 前回の禁煙治療より1年が経過していること
- ニコチン依存を診断するテストで5点以上
- 1日平均喫煙本数 × 喫煙歴 = 200以上
- 1ヶ月以内に禁煙を始めたいと思っていること
- 喫煙治療に文章で同意していること
- 禁煙外来を行っている医療施設を受診する

国立病院機構熊本医療センター

診療科

- 総合医療センター 総合診療科、血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科
- 消化器病センター 消化器内科
- 心臓血管センター 循環器内科、心臓血管外科
- 脳神経センター 脳神経外科、神経内科
- 感覚器センター 眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科
- 画像診断・治療センター 放射線科
- 救命救急センター 救急科
- 精神科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- リハビリテーション科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 歯科口腔外科
- 形成外科
- 麻酔科
- 病理診断科

- 診療時間 8:30～17:00
- 受付時間 8:15～11:00
- 休診日 土・日曜日および祝日

〒860-0008 熊本市中央区二の丸 1-5
 TEL 096 (353) 6501 (代表)
 FAX 096 (325) 2519
 H P <http://www.nho-kumamoto.jp/>

急患は
いつでも
受け付けます

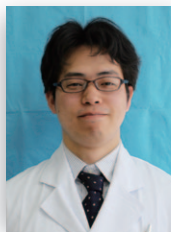
呼吸器内科

呼吸器内科は現在、名村医師が常勤医として外来・病棟の診療に当たっています。その他には非常勤ではありますが3名の医師が外来の診療に携わっています。当科は肺炎などの呼吸器感染症の他、気管支喘息や肺気腫、肺癌といった割合良く知られている疾患を中心に診断および治療を行っています。特に肺癌は他の癌と比較して罹患率・死亡率共に上位に位置し、今も増加傾向を示しており、早期の診断が重要となります。当科では気管支鏡検査も行っており、肺癌を含め種々の呼吸器疾患の早期診断に努めています。



呼吸器内科より

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) について



呼吸器内科医長
名村 亮

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) は、一般的には肺気腫として知られていますが、肺気腫を認めないものもあります。COPD の発症には喫煙が最も大きな危険因子として挙げられます。近年価格の上昇もあってか紙巻きタバコの販売数は減少しつつあります。しかしながら依然その販売数は多く (1,969 億本: 2013 年 日本たばこ協会)、女性や 20 歳未満の喫煙率が上昇していることも問題となっています。



COPD の主な症状としては慢性の痰を伴う咳があり、進行例では体動時の呼吸困難があります。更に進行すると安静時でも呼吸困難を自覚するようになり、そのため食欲の低下、外出せずに自宅に居ることが多くなる、自宅に居ても居間など一定の場所から殆ど動かなくなるなどといった状態になります。そうすると全身の筋力も低下するため体は痩せ、より体動が困難な状態になります。その他、骨粗鬆症 (骨への荷重が少なくなるため)、睡眠障害 (睡眠中の低酸素状態のため) などといった症状も見られます。そういった身体的な問題だけではなく、慢性的な呼吸困難、食欲が低下する、外出が少なくなるなどの状況は精神面にも影響を及ぼすため、抑うつ状態になる傾向があります。

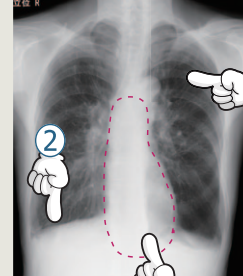


治療として第一に重要なことは禁煙することです。但し、症状が既に出現している場合、禁煙だけで症状が改善することはありません。喫煙と COPD との関係は例えるならば鉄などの金属に毎日水をかけて放置するようなものです。水をかける量が多く、またその期間が長い程に金属は錆びていきます。そして水をかけることを止めたからといって錆びが取れて元に戻ることは無く、変化は少なくなるものの浸食は続きます。つまり、COPD は進行する病気です。そのため出来るだけ早期の禁煙が必要です。

既に出現している症状に対してはその程度に応じての処方なされます。体動時に強い呼吸困難、或いは安静時にも呼吸困難を自覚する場合には在宅酸素療法も考慮されます。これらの処置は単純に症状の軽減を図るだけではなく、COPD によって低下してしまった日常生活の質を取り戻すために行います。その他に最近テレビの CM などで見かけるようになりましたが、肺炎球菌ワクチン接種も重要です。COPD は肺炎を合併すると重篤化することがあるため、65 歳以上の方々は勿論、COPD などの慢性呼吸器疾患を患っている患者さんには通常の感染予防に加えて接種をお勧めします。これから寒くなり、風邪を引くこともあるかと思えます。その際は早めに治療を行い、長引かせないように心がけて下さい。

memo

肺気腫のレントゲン写真の特徴



- ① 肺は膨張して全体的に黒く写ります。
- ② 横隔膜は下がっています。
- ③ 心臓は両肺に圧迫されて細く見えます。